

すべてのデバイスでパイプが誤った一致を返す

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、パイプ記号 (|) を使用して出力をフィルタするときに発生する問題について説明し、予期しない結果を回避するために `show` コマンドとともに使用する正規表現の正しい構文についても説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、文字列に基づいて出力をフィルタするための適切なパイプ記号の利用に基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

問題

コマンドで次のようにパイプ記号を使用すると、不適切な出力になります。

```
Switch#show run | include 1.1.1.2
ip address 192.168.51.131 255.255.255.0
ip address 198.1.1.1 255.255.255.0
```

解決策

ドット (.) を使用すると、スペースや数値を含む 1 文字に一致します。前述の例では、1.1.1.2 は以下と一致します。

192.168.51.131255.255.255.0 および 198.1.1.1 255.255.255.0

特殊文字との一致が必要な場合は、その意味をバックスラッシュ (\) で抑止する必要があります。次に、例を示します。

```
Switch# show run | include 1.1.1\.2 does not match IPs above
```

この動作は、[正規表現](#)の定義に従ったものです。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)